



2022みんなねっと広島大会に参加して 大会スローガン『愛と自立を語ろう！！』
2022年10月13日（木）～14日（金）

～みんなが自立し心ゆたかに住み続けられる平和な社会を目指して～

精神保健福祉家族会 シュロの会会長 植松和光

何十年かぶりに訪れた広島の地。その変貌ぶりに驚きました。さすがは、中国地方最大の都市だと実感するとともに、この地に今から77年前にあの恐ろしい原爆が落とされたんだと気持ちを新たにして、会場へと向かいました。

当日は雲一つない秋晴れの大会日和でした。会場は、広島平和記念公園のすぐそばにあるJMSアステールプラザでとてもきれいでした。

大会は、講演では当事者や家族が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らすためには、地域包括ケアシステム構築の前提として家族支援や差別解消が必要、また、地域共生社会の実現に向けて、保健・医療・福祉の課題を地域づくりの視点でとらえ直すことが必要などの貴重な提言が行われました。

さらに4つの分科会では、何れも日常生活や地域社会に根ざした切実な問題提起があり、活発な意見交換や有意義な助言が行われ、当事者と家族にとって、新たな交流や絆を深めるとともに、みんなで一緒になって活動していくことの必要性を再認識する場となったのかなと感じました。

私は、第一分科会の「家族による家族学習会」の取組についてに参加しました。問題提起者は広島市家族会の皆さん、助言者は岡山県精神障害者家族会連合会阪井ひとみ氏家族学習会は、精神疾患について正しい知識を得るとともに、自分の悩みを打ち明けたり、体験を聞くことができ、地域で当事者や家族が孤立しない貴重な交流の場となっていること。しかし、近年、会員の高齢化や加入者の減少により、活動の停滞といった課題を抱えている。そんな中でも、家族会は地域包括ケアシステムの重要な担い手としても期待されていること等が報告されました。

今後は、さらに保健・医療・福祉との連携、行政からの支援、活動の好事例の共有等により、家族学習会の取組を一層発展させていまいしょうとの助言者の言葉で終わりました。この活動は、家族会の役員が中心となり、家族を対象にした学習講座で10名程度を1グループにした連続5回コースです。私たちの家族会で実施できるなという感想を持ちました。



円グループ・シュロの会 サロン 中間報告

- ◆ 5/8 サロンに集まり賑やかで楽しい情報交換が出来ました。サロンの市報掲載依頼を5/17(火)決定。
- ◆ 6/12 8月の講演会と10月以降の交流会のテーマを相談。午後の家族相談は1組2名。訪問看護師板谷さん。
- ◆ 7/10 市役所障がい福祉課の中野保健師がサロンを見学。プロフィール報告後に国立市の精神保健福祉の取り組みを聞く。午後の家族相談は1名。訪問看護師 板谷さん。
- ◆ 8/7 くにたち依存症を考える会「輪かち逢い」の宮内さん(当事者)が参加。様々な依存症(アルコール、万引き、薬物、ギャンブル等)を抱える人たちの会を紹介。「分かち合い、つながる」ことが目的で月に1回金曜日くにたち福祉会館で活動。家族相談なし。訪問看護師 佐野さんと歓談。訪問看護師と訪問介護士の現場での取り組み方の相違を聞く。「当事者の食事について」「サロンでの催し物のアイデア～みんなで料理を作るなど～」話し合う。
- ◆ 9/11 国立在住の木村さんが参加。現在は横浜市で非常勤の精神障害者の相談に従事。シュロの会賛助会員になりました。本の紹介「障害のある子が将来にわたって受けられるサービスのすべて」監修 渡部伸 「まんがと図解でわかる障害のある子の将来のお金と生活」「親なきあと」相談室主宰 渡部伸 著

日付	参加者		家族相談者
	会員	会員以外	
5/8	10	0	0
6/12	8	3	2
7/10	10	2	1
8/7	6	2	0
9/11	7	1	0
10/9	10	2	1
計	51	10	4

午後の家族相談なし。円グループ櫻の杜 田中さんと「サロンの使い方について」話し合う。○サロン以外の目的で使う場合は事前に報告すること。○サロンを出るときは鍵をしっかりと閉めること。再度の確認をすること。

- ◆ 10/9 5月～9月の6か月間のふりかえりをする。○鍵の使い方について確認しあう。○11月の円の理事会でサロン半年間の実績報告をする予定。会長他2名が出席予定。側嶋さんより、公式ラインアカウントについて説明。「輪かち逢い」宮内さんより報告。午後の家族相談は1名。訪問看護師 板谷さん。(丸山)

忘年会へのおさそい

年末恒例の忘年会の時期になりました。今年も新型コロナ対策に気をつけながら、下記の日程で開催いたします。美味しい食事を楽しみながら交流しませんか。皆さまのご参加をお待ちしています。

日時	12/4 (日) 12:30～14:30
場所	旬菜和食「葉月」 国立市東2丁目5-26スリーエス国立1階
内容	シュロの会 忘年会
会費	家族 1人4,500円 当事者 1人3,000円
申込	シュロの会・上野 携帯 090-9824-6464 申し込み〆切 11月25日(金)





EN GROUP CO., LTD.

円グループ・シュロの会 サロン



(株)円グループとシュロの会協同で、精神障がい者家族及び精神障がい者の相談及び交流・居場所として令和4年5月8日から運営を開始しています。サロンでは、健康・安全を最優先とし、コロナウイルス感染予防対策をしております。ご利用の際には、検温やマスク着用等にご協力をお願いいたします。広く皆様のご利用をお待ちしています。

住 所	東京都国立市東1-17-20サンライズ21ビル203	
実 施 日 (日 曜 日)	12/11・1/15 (AMはミニ交流会)・2/12・3/12	
時 間	10:00~12:00	当事者・家族のおしゃべり交流の場 (予約は不要です)
	13:30~15:30	ご家族相談 ▽事前予約が必要です▽
問 合 せ 約 ご 予 約	メール	info@shuronokai.org
	電話	080-1211-6898:植松(うえまつ) 090-7195-8994:側嶋(そばしま)
利 用 料	参加費100円(コーヒー・紅茶を用意しています)	
実 施 機 関	(株)円グループ・精神保健福祉家族会 シュロの会	
相 談 員	家族及び円グループの看護師・精神保健福祉士	



JR中央線「国立駅」南口より旭通り徒歩5分 店内のエレベーターをご利用下さい。2階です。(正面右側から入り、左側にエレベーターがあります)

新型コロナウイルスの感染急拡大に伴い、参加される方は下記のご協力をお願いします。

- 当日熱が37度以上ある場合の参加のご遠慮
- マスクの着用
- 手指消毒



今後の予定：シュロの会 忘年会・ミニ交流会

1月予定変更のご案内：22日PM福祉会館→「15日AMサロン内」に変更

【1月は、15日にサロンを開催し、ミニ交流会は、サロンの中で午前中に行います。】

※広報誌発送作業は15日午前中のサロン内で実施し、広報印刷は、国立公民館で行います。

日時	12/4 (日) 12:30~14:30	日時	1/15 (日) 10:00~12:00
場所	国立市 旬菜和食「葉月」	場所	サロン サンライズ21ビル203
内容	シュロの会忘年会(詳細2P)	内容	ミニ交流会(6回目)は15日 午前にサロン内で実施します! 家族相談 広報紙発行 役員会
会費	家族 1人4,500円 当事者 1人3,000円	予約	不要(会員対象)
予約	必要 申込〆切:11月25日		

講演会等の案内

■ 「精神障害者の親の老後と亡き後に備えて」

■ 日時 11月12日(火)午後2時~4時半

■ 講師 聖学院大学 教授 田村 綾子氏

■ 会場 コクブンジプラザ リオンホール
(国分寺駅ビル西5階)

■ 申込不要 先着60名

■ 主催 国分寺あゆみ会 ☎080-1123-2502

■ 「おとなの発達障害」

■ 日時 12月10日(土)

■ 講師 精神科医・大泉病院社会医療部長 山澤 涼子氏

■ 会場 新宿区立障害者福祉センター

■ 主催 新宿フレンズ ☎03-3987-9788

■ 「発達障害? 統合失調症? ~診断と治療 そして家族ができること~」

■ 日時 12月16日(金)午後1時30分~4時

■ 講師 昭和大学発達障害医療研究所 所長太田 晴久氏

■ 会場 世田谷区立宮坂区民センター 参加費: 会員300円・一般800円

■ 申込み: 世田谷さくら会 ◇要電話申込 ☎ 03-3308-1679



自由広場



上野国立博物館の「国宝展」に行ってきました。

暑かった夏から瞬間に晩秋のような肌寒い日々になり季節の移り変わりの早さを感じます。

秋と言えばやはり芸術の秋でしょうか。創立150周年を上野国立博物館で10月18日～12月11日まで記念特別展が開催されています。12万件という膨大な所蔵品の中から国宝89点を含む150点が公開されています。

長谷川等伯の「松林図屏風」が見られると興奮して早速上野に行ってきました。安部龍太郎の直木賞受賞作品（等伯）を読んで以来ずっとみたいと思っていた作品で近世日本の水墨画を代表する作品と言われています。その六曲一双の屏風絵は会場に入ってすぐの場所に展示されていてびっくりしました。

安部龍太郎氏によると等伯ほどの大切なものを失い続けた芸術家は珍しい、生まれた能登七尾で養父母を失い越後上杉氏により主君畠山氏を滅ぼされ、京都に出てから妻がなくなり目をかけてくれた千利休、秀吉の怒りに触れて自刃、生きていれば自分以上に才能があるといわれた最愛の息子を失い（小説ではライバルの狩派の者に殺されることになっています）等伯も秀吉の怒りに触れて殺されるはずの所を、秀吉を納得させる絵を描いたら命は助ける、と言われて描いた作品だと言っています。愛する故郷七尾の霧に霞む松林を描いた作品のようです。真実は謎ですが白と墨色の濃淡をつけただけの絵ですが色々なことを想像して見飽きることはありません。

他にも天下の名刀が惜しげもなく並んでいたり教科書で見た埴輪があり掛け軸あり絵画ありで会場を出るところには頭がくらくらしてきました。

非日常のちょっとした感動をお伝えしたくなり長々となりました。早いもので今年も後2カ月となりました。コロナ第8波やインフルエンザの心配も出てくる季節です。風邪などひかないよう気を引き締めて参りましょう。（家富弓子）

ケーズデンキでイヤホン購入後、定休日のはずの市場が営業してたので、八百屋に寄ると「レタス3つ300円でいいよ～」「えっ？」ふり返ったらもう大袋にどんどんレタスを入れてる...。「これ全部売れないと帰れないんだよ～」といっぱい詰め込んで「300円でいいよ～」って。得した気分になり、レジを済ませて車で帰宅。夫に4個渡して公民館へ急ぐ。ピアノの先生に2個、歌サークルの一人に1個を渡したのですが...。2日後には3個のレタスが芯まで赤くなってしまって多くを廃棄することに。1つ40円で買ってもらった二人には悪いことをしてしまった！八百屋に「レタスはいらない」ときっぱり断れなかったことを大いに反省しました。（丸山）

会員の皆様からのコメントをお待ちしております。

コメントは、家族会・ミニ交流会時やホームページのお問合せメールで
お受けしています。40文字以内でお願いします。（編集部）



【編集後記】

今年は久々にくにたち祭が開催されます。併せて天下市も開かれ、大勢の人々で賑わうことでしょう。

シュロの会もはるか昔に天下市に出店したことがありました。誰かが棕櫚亭さんのうどん店が繁盛したと聞きつけて来ました。残念ながら私共には資金も人でも不足しており真似はできないので、フリーマーケットを開くことにしました。暑いうちから会議があり、電車に乗って夜出席するのが難儀で次からは他の方に替わってもらいました。皆さんから不要品を募って、経験者が見栄え良く並べて、お客さんと会話を楽しみながら値段交渉したり、他店を眺めたりして、楽しい一日でした。

そういえば、当事者と一緒に昭和記念公園でバーベキューをしたことも、全家連（みんなネットの前身）経営のホテルに宿泊して当事者が働く現場を見たこともありました。コロナ以前の鯛めし＆天ぷらランチを美味しくいただきました。

コロナ禍が長引くことで何事も注意深く行わなければなりません、当事者を尊重しつつ家族一人ひとりの人生を豊かにするよう、楽しい企画を用意したいと考えています。どうぞアイデアをお寄せください。（前田）